

RCJ Route 運営スタッフ募集要項

応募締切日：2020年10月23日（金）

所属	総務部	プログラム部		広報部
責任者（部長）	内田 椋太 （東京連盟杉並第3団）	安達保乃香 （山形連盟天童第1団）	小馬加奈子 （大阪連盟高槻第4団）	
チーム名	総務チーム	全体プログラムチーム	選択プログラムチーム	エンジニアチーム
奉仕期間	2020年11月1日 ～2021年10月31日	2020年11月1日 ～2021年10月31日	2020年11月1日 ～2021年10月31日	2020年10月1日 ～2021年10月31日
奉仕内容	<p>(大会前)</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加申し込みに関する準備 各種準備資料の作成 <p>(大会期間中)</p> <ul style="list-style-type: none"> スタッフおよび参加者の生活支援(配給、安全、衛生) 野営管理 その他庶務事項 <p>(大会後)</p> <ul style="list-style-type: none"> 報告書の作成 	<p>(大会前)</p> <ul style="list-style-type: none"> 部内業務全般のサポート 開閉会式、朝礼、ナイトプログラムの企画 参加者向けプログラムのガイドの作成 <p>(大会期間中)</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体プログラムの実施運営 <p>(大会後)</p> <ul style="list-style-type: none"> 報告書の作成 	<p>(大会前)</p> <ul style="list-style-type: none"> 部内業務全般のサポート 半日プログラム、一日プログラムの企画 参加者向けプログラムのガイドの作成 <p>(大会期間中)</p> <ul style="list-style-type: none"> 選択プログラムの実施運営 <p>(大会後)</p> <ul style="list-style-type: none"> 報告書の作成 	<p>(大会前)</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者との情報共有システムの構築 参加者アプリの調整 <p>(大会期間中)</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者アプリの調整 写真撮影 当日広報資料の作成 システムの調整 <p>(大会後)</p> <ul style="list-style-type: none"> 報告書の作成
必要とするスキルおよび条件	<ul style="list-style-type: none"> Word、Excelを使ったPC作業ができること 	<ul style="list-style-type: none"> 企画段階から当日の運営、報告書作成までの一連のプロセスに参画できること。 プログラム運営への興味・関心があり、主体的に業務遂行できること。 	<ul style="list-style-type: none"> 企画段階から当日の運営、報告書作成までの一連のプロセスに参画できること。 プログラム運営への興味・関心があり、主体的に業務遂行できること。 <p>【歓迎条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> SDGsに関する見識 コミュニケーション奉仕の経験 	<ul style="list-style-type: none"> ITへの興味と知識を持っていること システムの運用業務に興味があること アプリケーション/プログラム調整等に見識があること <p>上記の3つのうちどれか1つでも満たしていること</p>
奉仕をして得られること	<ul style="list-style-type: none"> 野営大会およびRCJプロックイベント等における事務全般の理解 	<ul style="list-style-type: none"> プログラム企画や運営に関するノウハウ 野営大会における教育的・交流的要素を交えたプログラム展開への理解 	<ul style="list-style-type: none"> プログラム企画や運営に関するノウハウ 野営大会における教育的・交流的要素を交えたプログラム展開への理解 	<ul style="list-style-type: none"> 参加者ニーズの把握方法 情報発信手段の選択方法
募集人数	若干名	3～4人程度	6～7人程度	3人程度
選考方法	これまでのスカウティング経験や交えた自己PR作文	これまでのスカウティング経験や交えた自己PR作文	これまでのスカウティング経験や交えた自己PR作文	これまでのスカウティング経験を交えた自己PR作文

(運営委員会から) ①どのチームへの奉仕も、学びの機会として高いモチベーションを持つことを求めます。

②運営スタッフの大会奉仕期間はどのチームへの奉仕も2020年11月1日から2021年10月31日ですが、この期間より早く奉仕期間が終了することがあります。

③大会開催期間は2021年9月17日から2021年9月20日ですが、運営スタッフは前日または前々日から大会終了後翌日または翌々日までの奉仕をお願いします。

④特にプログラム部の運営スタッフは大会期間2021年9月17日から2021年9月20日への奉仕を必須とします。

RCJ Route シンボルマーク募集要項

1. 募集内容

RCJ Routeのシンボルマーク

2. 募集資格

ボーイスカウト日本連盟加盟員であること

3. 応募締切日

2020年11月27日（金）日本連盟事務局必着

4. 作品条件

- 1) 応募される作品は、本件のために独自にデザインしたもので、未発表で類似作品の無いオリジナル作品に限る。
- 2) 縦8cm×横9cmにおさまり、このサイズで見やすいもの。形状は問わない。
- 3) デザインの中に「RCJ Route」の文字をいれること。
- 4) 色の使用はシンボルマークを使用した配布物などの作成の関係上、4色以内にする
こと。
- 5) 作品は JPEG または PNG などの画像ファイル形式とし、可変可能なAdobeイラストレーターデータでの作成も可能とする。）

5. 応募要件

- 1) Eメールに必要事項を記載し、画像ファイルのデータを添付して日本連盟教育開発部に申し込む。
- 2) 応募は1人につき何点でも可能。また、団・隊などのグループによる応募も可能。その場合代表者連絡先を明記すること。
- 3) 件名を「RCJ Routeシンボルマークの応募」とし、本文には「氏名」「所属」「デザインの意図」を記載すること。

6. 選考結果

RCJ Route運営委員会にて、厳正に審査を行い、その結果を日本連盟ホームページにおいて発表する。

7. 注意事項

- 1) 応募作品は結果にかかわらず返却しない。
- 2) 採用作品は、著作者の了解のもと、デザインの一部を修正する場合がある。
- 3) 採用作品は以後、RCJ Routeの広報活動やオリジナルグッズの制作等にあたり、RCJ Route運営委員会が自由に使用できるものとする。
- 4) 応募の際に入手した個人情報、応募作品の審査、採用通知及び採用作品の公表等以外の利用及び他者への提供はしない。
- 5) 募集要項に記載された事項以外について取り決める必要が生じた場合は、RCJ Route運営委員会の判断により決定する。

以 上

<参考>

(大会基本実施要項より抜粋)

■開催にあたって：

2012年に全国ローバースカウト会議が発足したことで、全国のローバースカウトの意見を取りまとめ、提言することが可能となった。2016年に全国規模のローバースカウトの野営大会として11年ぶりにRCJクエスト2016 in高萩が開催され、2018年にその大会をさらに拡充させる形でRCJ Re:Questが開催された。RCJ Re:Questでは、教育規程にあるようなローバースカウトの活動目標を達成する一助となるような機会となるために、開催地である茨城県の一般小学生を迎えた自然体験プログラムを行なった。そこで本大会では、RCJ Re:Questのようなプログラムに加え、SDGs等に関わる実践的な教育プログラムを取り入れることで、スカウトのニーズ、地域社会のニーズ、そして国際社会のニーズを参加者が主体的に満たすような野営大会を目指す。

■大会の目的：

1. ローバースカウト活動の目標を達成し、より良き社会人としての意志を高める
2. 野営大会を持続的な事業とすることにより、野営大会の価値の向上とローバースカウト部門の発展に寄与する

■大会の目標：

1. 全国のRCJ構成員と野営とプログラムを共にすることにより、友情を築く
2. 数々の交流を通して活動の幅を広げ、自身の視野を広げるきっかけにする
3. 地域社会から国際社会まで、幅広い社会において貢献できる市民として必要な資質を養う
4. 参加者一人一人が主体性を持って本大会を作り上げていく

■大会名称：RCJ Route（略称：RCJR）

理由：「道筋」という意味を持つ”Route”は、目的や目標を達成するための道筋、より良き社会人への道筋、より良きローバリングへの道筋、野営大会の持続的発展のための道筋など、本大会で見出すべきあらゆる「方向性」を示す。この方向性を参加者に提供すること、あるいは参加者自身に考えてもらうこと、感じてもらいたいという思いを込めた。

■大会テーマ：Chance to Inspire

理由：鼓舞させる、発奮させる、元気づける、動機付ける、刺激を与える、引き起こすなど、数多くの意味を持つ“Inspire”は、本大会の目的と目標を達成するにあたり、必要不可欠な強いメッセージ性のある言葉であるとともに、参加者一人ひとりが大会テーマの意味に対して複数の捉え方を持つことで、それぞれ異なる環境に身を置く参加者が、大会から得られるものを考えることができる。そして、本大会はその絶好の機会であることを明確に示すために、“Chance”と表現した。

以上

RCJ Route 大会ソング募集要項

1. 募集内容

RCJ Routeの大会ソング

2. 募集資格

ボーイスカウト日本連盟加盟員であること

3. 応募締切日

2020年12月25日（金）日本連盟事務局必着

4. 作品条件

- 1) 歌詞と曲を合わせて1作品とする。（歌詞のみ、曲のみのものは受け付けない）
- 2) 未発表の作品で、知的所有権等をクリアできるもの。
- 3) 歌いやすい音域で4分以内の曲とする。

5. 応募要件

- 1) Eメールに必要事項を記載し、歌詞と曲を日本連盟教育開発部に申し込む。
※歌詞、曲のファイルの種類は指定しない。MP3ファイルや、動画アップロードサイトのURLなどでも可とする。
※ファイル容量が大きい場合はダウンロードリンクなどによる提出も可とする。
- 2) 件名に「RCJ Route大会ソングの応募」と記載し、本文には「氏名」「所属」「歌詞・作曲の意図」を記載すること。

6. 選考方法

RCJ Route運営委員会にて、厳正に審査を行う。

7. 発表

後日、本人宛に通知するとともに、日本連盟ホームページにおいて発表する。

8. 注意事項

- 1) 採用作品は、著作者の了解のもと、歌詞や曲の一部を修正する場合がある。
- 2) 採用作品は以後、RCJ Routeの広報活動やオリジナルグッズの制作等にあたり、RCJ Route運営委員会が自由に使用できるものとする。
- 3) 応募の際に入手した個人情報、応募作品の審査、採用通知及び採用作品の公表等以外の利用及び他者への提供はしない。
- 4) 募集要項に記載された事項以外について取り決める必要が生じた場合は、RCJ Route運営委員会の判断により決定する。

以 上

<参考>

(大会基本実施要項より抜粋)

■開催にあたって：

2012年に全国ローバースカウト会議が発足したことで、全国のローバースカウトの意見を取りまとめ、提言することが可能となった。2016年に全国規模のローバースカウトの野営大会として11年ぶりにRCJクエスト2016 in高萩が開催され、2018年にその大会をさらに拡充させる形でRCJ Re:Questが開催された。RCJ Re:Questでは、教育規程にあるようなローバースカウトの活動目標を達成する一助となるような機会となるために、開催地である茨城県の一般小学生を迎えた自然体験プログラムを行なった。そこで本大会では、RCJ Re:Questのようなプログラムに加え、SDGs等に関わる実践的な教育プログラムを取り入れることで、スカウトのニーズ、地域社会のニーズ、そして国際社会のニーズを参加者が主体的に満たすような野営大会を目指す。

■大会の目的：

1. ローバースカウト活動の目標を達成し、より良き社会人としての意志を高める
2. 野営大会を持続的な事業とすることにより、野営大会の価値の向上とローバースカウト部門の発展に寄与する

■大会の目標：

1. 全国のRCJ構成員と野営とプログラムを共にすることにより、友情を築く
2. 数々の交流を通して活動の幅を広げ、自身の視野を広げるきっかけにする
3. 地域社会から国際社会まで、幅広い社会において貢献できる市民として必要な資質を養う
4. 参加者一人一人が主体性を持って本大会を作り上げていく

■大会名称：RCJ Route（略称：RCJR）

理由：「道筋」という意味を持つ”Route”は、目的や目標を達成するための道筋、より良き社会人への道筋、より良きローバリングへの道筋、野営大会の持続的発展のための道筋など、本大会で見出すべきあらゆる「方向性」を示す。この方向性を参加者に提供すること、あるいは参加者自身に考えてもらうこと、感じてもらいたいという思いを込めた。

■大会テーマ：Chance to Inspire

理由：鼓舞させる、発奮させる、元気づける、動機付ける、刺激を与える、引き起こすなど、数多くの意味を持つ“Inspire”は、本大会の目的と目標を達成するにあたり、必要不可欠な強いメッセージ性のある言葉であるとともに、参加者一人ひとりが大会テーマの意味に対して複数の捉え方を持つことで、それぞれ異なる環境に身を置く参加者が、大会から得られるものを考えることができる。そして、本大会はその絶好の機会であることを明確に示すために、“Chance”と表現した。

以上